

HEPHAIST®

Housing A

Housing B

それは価値を創造する個性ある集団です。

ΦK

第44期 事業報告書

Sun sphere

2005年4月1日~2006年3月31日

Retainer

ΦH

ΦM

ΦB

ΦA

G

D

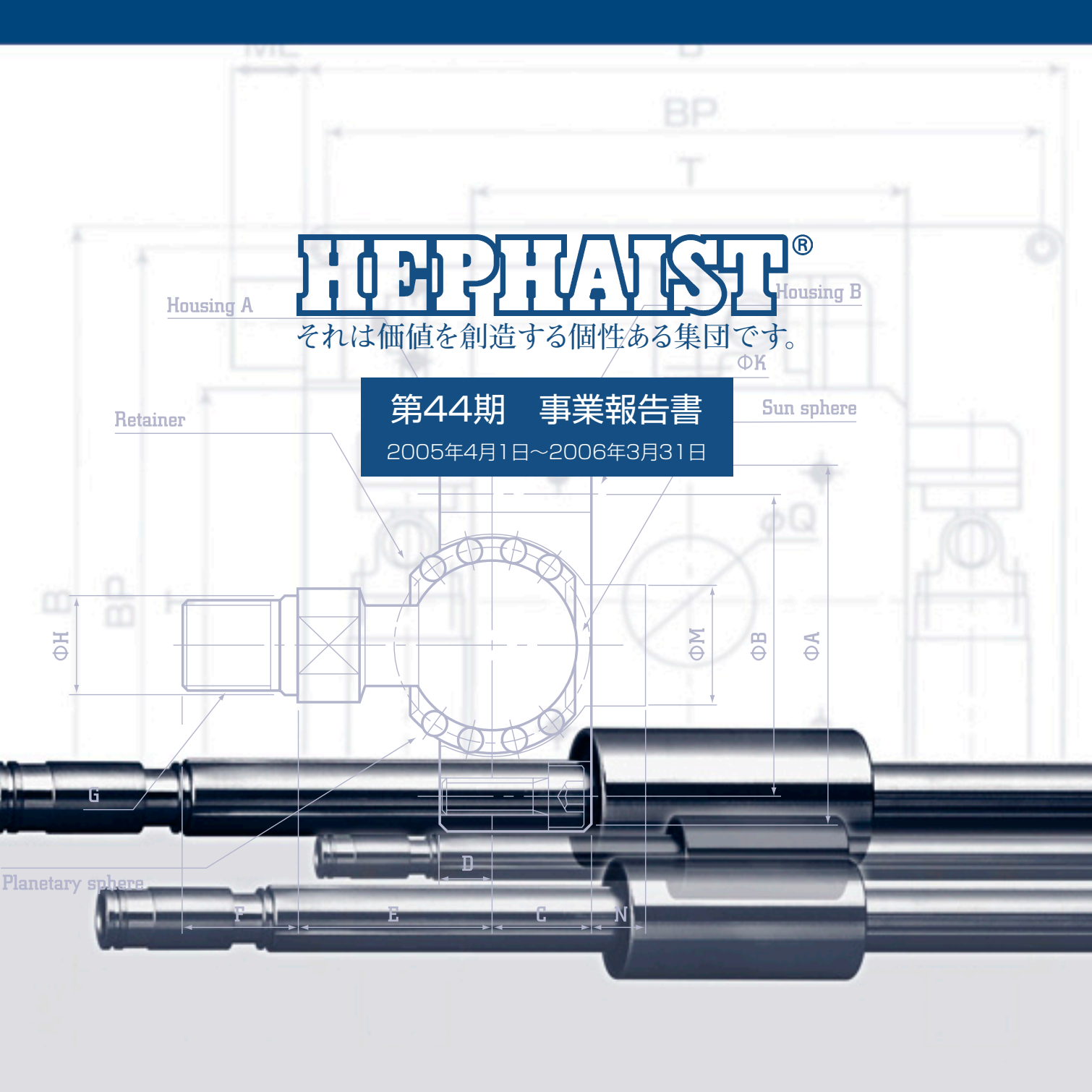
Planetary sphere

F

E

C

N

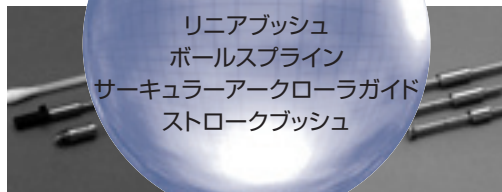


当社は、創業以来一貫して直線運動機構の研究開発に取り組み、斬新で独創的、且つ合理的設計構造によるリニアベアリング製品を開発いたしました。当社はそれらの製品を通じて、高精度、高品質を特徴とするリニアモーションベアリングの専門メーカーとして独自の地位を築いてまいりました。

現在では、リニアベアリングのみならず、それらの長年蓄積した固有技術を生かし開発したポジショニングステージの製造販売、また次世代へのナノテクノロジーに取り組む応用製品の研究開発と事業化など、高精度な製品開発並びに業容の拡大を目指しております。

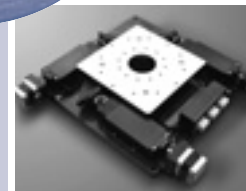
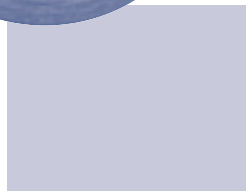
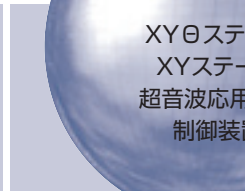
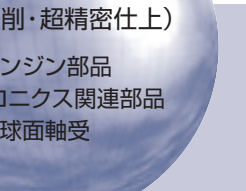
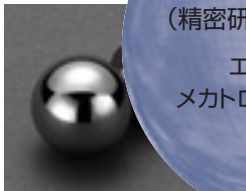
リニアモーション

リニアプッシュ
ボールスプライン
サーキュラーアークローラガイド
ストロークプッシュ



超精密加工 (精密研削・超精密仕上)

エンジン部品
メカトロニクス関連部品
球面軸受



システム製品群

XYθステージ
XYステージ
超音波応用製品
制御装置

目次

事業概況	-----	1	トピックス	-----	5
株主・投資家の皆様へ	-----	2	株式の状況	-----	6
財務情報	-----	3	会社の概況	-----	6



株主・投資家の皆様へ

代表取締役社長 尾崎 浩太

Message

皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。当社第44期事業報告書をお届けするにあたり、平素のご支援を深く感謝し、ご挨拶申し上げます。

当期において、当社は技術開発力の強化及び品質向上に努めるとともに生産・販売の効率化を図り業績の維持向上に努めてまいりました。平成17年8月には新工場（埼玉県川越市今福）が完成、本社・工場移転に伴う影響を極力押さえ、生産の維持に努力いたしました。

まず当社の主力製品でありますリニアベアリングにつきましては、下期はやや受注が回復したものの上期受注減少分を補うことができず、売上高は1,415,298千円（前期比11.7%減）となりました。

エンジンパーツにつきましては、積極的な提案営業強化によりモータースポーツ向けが増加し、売上高は836,316千円（前期比9.5%増）となりました。

ポジショニングステージ等につきましては、新規需要開拓を積極的に行った結果、当社新規開発のアクチュエータが採用され売上高は314,297千円（前期比79.0%増）と大幅に増加いたしました。

この結果、当事業年度の業績は、売上高2,565,912千円（前期比1.0%増）となり、経常利益は435,687千円（前期比5.3%増）、当期純利益は旧日本社工場の売却益などにより318,243千円（前期比29.4%増）となりました。

なお、本年度（第45期）は、配当金7円を予定しておりますが、より一層の利益拡大によりできる限り株主の皆様へ還元してまいります。

今後もヒーハイト精工は、価値を創造する個性ある集団として、創業以来40数年に亘る固有技術と独自性を生かして、新しい時代の要求にお応えしてまいります。

創業精神

「挑戦してこそ好機が生まれる」高度な技術の探求とファインメカニカルへの飽くなき情熱が私たちの誇りです。「義」の心をもって真摯に応え、「新たな価値の創造を通じて、社会に貢献できる企業を目指す」「社員共生」「安定成長」という3つの経営理念のもとに、創造開発型企業を目指していく所存です。

価値を創造する個性ある集団

21世紀の多様で高度なニーズに対して、「ヒーハイトならではの新しい感覚で挑む個性ある集団でありたいと、考えております。常に一步先の技術革新に挑戦し、社会に求められること、技術力と創造力による貢献をして参りたいと存じます。

終わらなき挑戦、ついでなき情熱

こだわり続けて40年余。当社は創業以来、一貫として直線運動機構の研究開発に取り組み、独自の地位を築いて参りました。当社の強みは、設計思想でもある「軽薄短小」であります。今後はさらに保有技術でもあります球面加工技術等を駆使して、「終わらなき挑戦」が続いていきます。

また直動ベアリング以外の新たな製品開発にも「ついでなき情熱」を燃やし続けてまいります。

未来から押し寄せる無限の波、新時代の多様で高度なニーズに限りなくチャレンジしてまいります。

株主・投資家の皆様には、一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成18年6月

貸借対照表

単位:千円

科目	44期 平成18年3月31日	43期 平成17年3月31日	科目	44期 平成18年3月31日	43期 平成17年3月31日
資産の部			負債の部		
流動資産	1,686,253	1,659,130	流動負債	1,159,571	901,526
現金及び預金 ①	170,565	328,966	支払手形及び買掛金	508,943	406,612
受取手形及び売掛金 ②	966,377	867,327	短期借入金	150,000	-
棚卸資産 ③	485,444	431,637	1年以内返済予定長期借入金	239,038	234,368
繰延税金資産	23,036	20,427	未払法人税等	170,000	120,000
その他	41,797	13,972	その他	91,589	140,546
貸倒引当金	△968	△3,200	固定負債	435,404	454,101
固定資産	2,640,119	2,158,574	長期借入金	187,920	218,918
有形固定資産	2,508,887	2,033,428	退職給付引当金	31,189	33,405
建物及び構築物 ④	1,177,332	419,455	役員退職慰労引当金	216,295	201,777
機械装置及び車両運搬具	226,347	171,835	負債合計	1,594,975	1,355,628
土地	1,063,504	1,074,065			
その他	41,702	368,072	資本の部		
無形固定資産	8,269	9,749	資本金	709,575	707,100
投資その他の資産	122,962	115,396	資本剰余金	656,535	654,060
投資有価証券	7,564	4,123	利益剰余金	1,363,860	1,100,800
繰延税金資産	97,364	96,040	その他有価証券評価差額金	1,426	116
その他	18,033	19,531	資本合計	2,731,397	2,462,076
貸倒引当金	-	△4,300	負債資本合計	4,326,372	3,817,705
資産合計	4,326,372	3,817,705			

貸借対照表のポイント

① 現金及び預金

前期は新工場建設に伴う資金投入によるものです。

② 受取手形及び売掛金

期末売上増に伴う売掛金の増加によるものです。

③ 棚卸資産

期末受注増に対応し仕掛品が増加したためです。

④ 建物及び構築物

新工場完成に伴う建物・構築物の増加によるものです。

損益計算書

単位:千円

科目	44期	43期
	平成17年4月1日から平成18年3月31日まで	平成16年4月1日から平成17年3月31日まで
売上高	2,565,912	2,541,608
売上原価	1,599,007	1,583,384
売上総利益	966,905	958,223
販売費及び一般管理費	522,730	524,434
営業利益	444,174	433,789
営業外収益	2,325	18,111
営業外費用	10,812	38,289
経常利益	435,687	413,611
特別利益①	198,804	4,411
特別損失①	62,995	1,848
税引前当期純利益	571,496	416,174
法人税、住民税及び事業税	258,077	176,607
法人税等調整額	△4,824	△6,466
当期純利益	318,243	246,032
前期繰越利益	105,617	114,767
当期末処分利益	423,860	360,800

キャッシュ・フロー計算書

単位:千円

科目	44期	43期
	平成17年4月1日から平成18年3月31日まで	平成16年4月1日から平成17年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー①	201,431	325,574
投資活動によるキャッシュ・フロー②	△448,558	△195,452
財務活動によるキャッシュ・フロー③	88,725	69,260
現金及び現金同等物の増減額	△158,401	199,383
現金及び現金同等物の期首残高	270,743	71,360
現金及び現金同等物の期末残高	112,342	270,743

利益処分

単位:千円

科目	44期	43期
	平成18年6月29日承認日	平成17年6月29日承認日
当期末処分利益	423,860	360,800
これを次のとおり処分いたします。		
利益配当金①	43,379	40,183
役員賞与金	20,000	15,000
特別償却準備金	2,784	-
別途積立金	200,000	200,000
計	266,163	255,183
次期繰越利益	157,697	105,617

損益計算書のポイント

① 特別損益の部

旧工場売却に伴う固定資産売却損益、本社移転関係費用の計上によるものです

利益処分のポイント

① 利益配当金

1株につき 7円00銭

キャッシュ・フロー計算書のポイント

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

主に税引前当期純利益571,496千円、減価償却費131,597千円等の収入に対し、有形固定資産売却損益155,144千円及び売上債権の増加99,050千円、法人税等の支払額208,577千円等の支出によるものであります。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

主に有形固定資産(日本社工場土地・建物等)売却による収入292,250千円に対し、有形固定資産(新工場建設等)取得による支出735,070千円によるものであります。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

主に短期借入金による収入150,000千円に対し、利益処分による配当金の支払額39,772千円等によるものであります。

新社屋完成

本社・埼玉工場が新工場(川越市今福)へ移転



新本社工場は敷地面積1万6,677平方メートル、延べ床面積7,589平方メートルで、総投資額は約17億円。生産スペースは旧工場の3倍余りに拡張した。精密特殊金属加工に対応したクリーンルームや恒温管理システムを備える。



匠職制度導入 3人の熟練工を認定

(日刊工業新聞)



【川越】ヒーハイト精工は、60歳定年後も健康である限り働くことができる「匠職制度」を導入した。認定条件は50歳以上の熟練した技を持つ社員で、このほど、同社製造部の武井功さん(仕上担当)、大久保正さん(旋削担当)、舟久保広雄さん(研削担当)の3人を匠職として認定した。3人は定年及び定年間近の年齢。伝統の技を引き継ぐ匠職として働く。同社では今後も同制度を通じ、団塊世代の退職による熟練技術の喪失を防ぐ考え。

今回の制度に先立ち、同社は03年4月から、ドイツのマイスター制度と同社名を掛けた技術評価制度「ファイスター制度」を導入。3カ月に1度、不良品発生率、費用対効果、管理能力などの観点から部門長が優秀な社員を推薦している。この実績が積み重なると、匠職への昇格もあるという。

「ノウハウを持った社員の存在は大きい。今後も、従来の評価制度では反映しにくい独自の技術を保有し、貢献している社員を評価していきたい」(尾崎浩太社長)としている。

尾崎社長とシチズン梅原社長のトップ対談

(日刊工業新聞)

日本のモノづくりを支え、世界をリードしている精密機械加工技術。このところの景気回復の動きを背景に、工作機械業界など関連業界もフル操業が続くなど、国内製造業の力強さが注目されつつある。しかし、中国など海外勢との競争は依然として厳しいのが現状。07年問題に象徴される人材確保や技能継承への対応も緊急の課題となっている。そこで、世界的な製品のブランド戦略をグループ展開するシチズン時計の梅原誠社長と、小粒ながら独自のニッチ分野開拓に取り組むヒーハイト精工の若手リーダーである尾崎浩太社長が、日本のモノづくりのあるべき姿について語り合った。

4 Stock Information

株式の状況

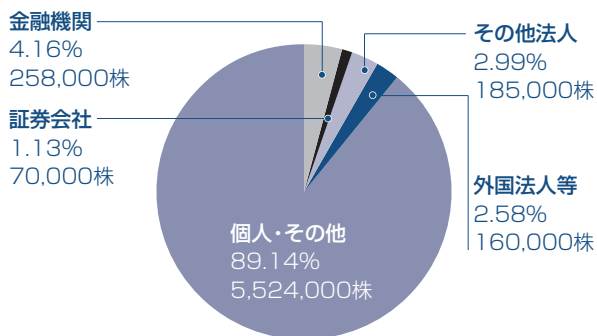
株式の状況 (2006年3月31日現在)

- 会社が発行する株式の総数……………18,720,000株
- 発行済株式の総数……………6,197,000株

大株主 (2006年3月31日現在)

氏名または名称	持株数(千株)	出資比率(%)
尾崎 久壽彌	1,429	23.06
尾崎 浩太	810	13.08
尾崎 文彦	703	11.35
廣瀬 和也	100	1.62
日本生命保相互会社	100	1.61
村上 潔	97	1.56
バンクオブニューヨークシーエムクライアント アカウンツイーアイエスジー (常任代理人 株式会社三菱東京UFJ銀行)	93	1.50
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	54	0.87
THK株式会社	50	0.80
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	49	0.79
ヒーハイト精工社員持株会	41	0.66

所有者別株式数 (2006年3月31日現在)



4 Corporate Data

会社の概況

会社の概況 (2006年3月31日現在)

- 社名 ヒーハイト精工株式会社
- 本社所在地 〒350-1151
埼玉県川越市今福580番地1
- 埼玉工場 〒350-1151
埼玉県川越市今福580番地1
[敷地面積16,677m² 建物面積7,589m²]
TEL 049-273-7000(代表)
FAX 049-273-7001
- 秋田工場 〒010-1653
秋田県秋田市豊岩小山字下田454番地
(豊岩工業団地内)
[敷地面積36,292m² 建物面積4,525m²]
TEL 018-828-0111
FAX 018-828-2231
- 設立 昭和37年7月19日
- 資本金 709,575,000円
- 従業員数 87人

役員 (2006年6月29日現在)

代表取締役会長	尾崎 久壽彌
代表取締役社長	尾崎 浩太
取締役	富岡 昭
取締役	木村 壮作
取締役	柴田 幸子
取締役	小川 好文
取締役	尾崎 文彦 (2006年6月29日新任)
常勤監査役	中島 好隆
監査役	黒崎 英一
監査役	小松 隆一



<http://www.hephaist.co.jp/>

株主メモ

- 決算日 毎年3月31日
- 定時株主総会 毎年6月
- 利益配当金 毎年3月31日(中間配当を行なう場合、毎年9月30日)
支払株主確定日
- 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
- 同事務取扱所 〒137-8081
東京都江東区東砂七丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部
フリーダイヤル0120-232-711
- 同取次所 三菱UFJ信託銀行株式会社全国各支店
- 単元の株式数 1,000株
- 上場証券取引所 ジャスダック市場
- 証券コード 6433

(お知らせ)

配当金振込指定書用紙のほか、当社株式に関する事務手続き用紙(お届出の住所・印鑑・姓名等の変更届、単元未満株式買取請求書、名義書換請求書等)のご請求につきましては、上記株主名簿管理人にてお電話並びにインターネットにより24時間承っておりますので、ご利用ください。

(本店証券代行部) フリーダイヤル0120-244-479
(大阪支店証券代行部) フリーダイヤル0120-684-479
インターネットアドレス <http://www.tr.mufj.jp/daikou/>

※本誌には、ヒーハイト精工の将来に関連する記述があります。この前提及び将来予測の記述には、経営を取り巻く環境の変化などによる一定のリスクと不確実性が含まれていることにご留意ください。

ヒーハイト精工株式会社

JASDAQ
証券コード6433